

カリキュラム区分		2カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	218	3年	後期	看護学科	必修	老年看護学実習 Clinical Practice in Gerontological Nursing	90	2
担当教員								
永井 さつき	田中 昭子	森 万純						
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
<input type="radio"/>	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>加齢および機能障害が高齢者の日常生活に及ぼす影響を理解し、日常生活援助やリハビリテーションによって、高齢者が望む（あるいは望むであろう）生活の実現に向けた看護が実践できる能力（知識・技術・態度）を養う。また、これらの援助を通して、高齢者を総合的にとらえる視点、高齢者のもてる力を活かした援助方法、家族へのケア、多職種との連携、チームケアにおける看護の機能を学ぶ。</p>								
到達目標（授業目標）								
<ol style="list-style-type: none"> 健康レベルに応じたコミュニケーションをとることができ、高齢者やその家族と良好な人間関係を形成することができる。 加齢および疾病・障害に伴う身体的要因、心理・霊的要因、社会・文化的要因と生活行動に関する情報が収集できる。 情報を科学的根拠に基づいてアセスメントし、高齢者が望む（あるいは望むであろう）生活をするために必要な援助の方向性を考えることができる。 高齢者の望む（あるいは望むであろう）生活を実現するための看護計画を立案し、計画に沿った看護を実践しながら評価、修正ができる。 老年看護におけるチームケアの必要性と看護の機能が理解できる。 老年看護における倫理的課題について考えることができる。 								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								

授業概要	1. 実習場所：伊予病院の一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、老人保健施設伊予ヶ丘の療養棟、いずれかに分かれて実習する。 ※各病棟・療養棟への配置については、実習開始前に周知する。
	2. 実習期間：2週間
	3. 実習時間：原則として、8:30 - 16:30
	4. 実習展開：詳細は実習要綱を参照

成績評価方法及び基準

実習評価表（100点）の到達度に基づき、評価する。60点以上を合格とする。

教科書	老年看護対象論、老年看護方法論、臨床病態学IVで使用したもの
参考図書等	堀内ふき他「ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害」（メディカ出版） 堀内ふき他「ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践」（メディカ出版） 亀井智子編「根拠と事故防止から見た老年看護技術」（医学書院）

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

実習時間は体験することを重視し、実習記録は主に実習時間外で行う。

関連科目

前科目	216	老年看護対象論	159	臨床病態学IV	216	老年看護対象論			
後科目									

実務家教員

看護師（医療機関）	永井 さつき	森 万純				
保健師（行政機関）	田中 昭子					

備考

--	--